

資金管理料金収支の見通し

1. 前提条件

項目	前回 (平成24年9月開催 第48回資金管理業務諮問委員会)	今回
①自動車製造業者、日本自動車輸入組合及びユーザーとの負担割合	従来どおり	従来どおり
②物価変動率	考慮しない	考慮しない
③消費税率	平成26年度より8%、平成27年度下期より10%	前回どおり
④実績及び予算	平成23年度までは実績、平成24年度は予算を使用	平成24年度までは実績、平成25年度は予算を使用
⑤計画	平成25年度以降は平成24年度予算をベースに以下3点の修正を加えた ・被災関連支出は含まない ・システム関連支出の定常費用は総計500百万円程度の低減 ・コンタクトセンター運営費支出は年間10百万円程度の低減	平成26年度以降は平成25年度予算をベースとし システム関連費支出及びコンタクトセンター運営費支出の低減額は前回と同様とした
⑥預託台数	平成25年度以降は平成24年度予算の 新車時預託483万台、引取時預託16.8万台	平成26年度以降は平成25年度予算の 新車時預託474万台、引取時預託14.4万台
⑦イベント等	5年毎のデータセンター移行の入札を前提に、次回更改時である平成29・30年度及び次々回更改時である平成34・35年度にそれぞれ合計20億円規模の移行費用を想定している	前回どおり

2. 今後の見通し

現時点では、前回報告(平成24年9月開催 第48回資金管理業務諮問委員会)内容と前提条件が大きく変わらず、情報システムの改善策実施による総計500百万円及びコンタクトセンターの業務委託先の変更による年間10百万円のコスト削減効果が影響し、累計収支が均衡するのは平成35年度以降となる見通しである。

また、平成25年度以降の単年度収支は、イベント発生年度(平成29、30年度及び34、35年度)を除きほぼ均衡する見通しとなっている。

当初の計画である、11年収支均衡期間(平成17年1月1日～平成27年12月31日)が2年後に終了することから、資金管理料金のあり方の検討を開始することとしたい。

(単位:百万円)

年 度	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	実績 累計	10年目	11年目	12年目	13年目	14年目	15年目	16年目	17年目	18年目	19年目	20年目
	H16(実)	17(実)	18(実)	19(実)	20(実)	21(実)	22(実)	23(実)	24(実)		25(予)	26(予)	27(予)	28(予)	29(予)	30(予)	31(予)	32(予)	33(予)	34(予)	35(予)
収 入	10,609	20,101	15,010	6,239	3,511	3,352	3,152	3,761	4,069	69,805	3,017	2,749	2,766	2,821	3,219	3,506	2,787	2,796	2,821	3,219	3,506
支 出	8,580	18,432	12,337	7,765	3,900	3,473	3,243	3,840	4,039	65,609	3,074	2,706	2,742	2,805	3,497	3,998	2,747	2,763	2,805	3,497	3,998
収支差額(単年度)	2,029	1,668	2,673	△ 1,525	△ 389	△ 121	△ 91	△ 78	30		△ 57	44	25	15	△ 278	△ 492	40	33	15	△ 278	△ 492
収支差額(累計見通し)	2,029	3,697	6,370	4,845	4,456	4,335	4,244	4,166	4,196	4,196	4,139	4,183	4,208	4,223	3,945	3,452	3,492	3,526	3,541	3,263	2,771

